

環境

1 グリーンとしま再生プロジェクト

- 区民一人ひとりの緑に対する意識を高め、地域全体の緑化行動を活発化させるため、区施設などに植樹を行い、まちぐるみで緑化の機運を高める。
- 区立学校校庭の芝生の維持管理のために、地域で組織された団体の活動を支援する。
- 池袋西口駅前広場のシンボルとして、モザイカルチャーを設置する。
- 緑を設置、管理する技術情報の提供などをきめ細かく行い、緑化意欲を引き出す。
- 都における緑化推進の取組みに合わせ、都や関係団体等との連携を密にした事業展開を図る。
- 区民や事業者など多様な主体との協力により、緑化推進の基盤となる「緑の基金」の活用を図る。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 「グリーンとしま」再生プロジェクト事業 144
- ◆ 身近な環境配慮行動支援事業 154
- ◆ 地域で取り組む 緑被率の向上 141
- ◆ みどりの基本計画改定 142
- ◆ 小・中学校校庭芝生化事業 143
- ◆ 池袋西口駅前広場モザイカルチャー設置事業 145

【池袋西口駅前広場のモザイカルチャー】



イメージ図

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
緑被率	12.4% (16年度)	12.9%	→	→
校庭を芝生化した学校数	1校 (19年度)	3校	→	→
緑のカーテン導入施設数	10施設 (19年度)	30施設	→	→
植樹数	8万本 (19年度)	9万1千本	12万本	15万本

【グリーンとしま再生プロジェクト】



【学校の森植樹祭】



【清和小校庭芝生化】



【池袋小緑のカーテン】

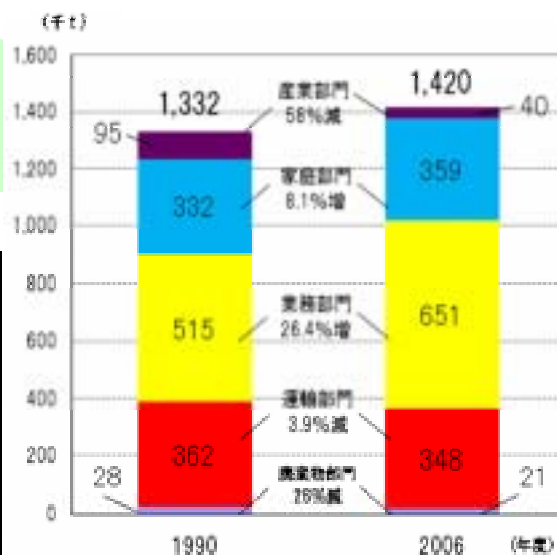
- 二酸化炭素の排出削減の方法をわかりやすく具体的に示すとともに、削減の取り組みが電力料金等の低減など経済的なメリットにつながることを示しながら、区内で活動するNPO・エネルギー事業者などと協働しつつ幅広い動きを作り出す。
- 再生可能エネルギー機器等の普及を促進するため、国及び東京都の太陽光発電普及事業の動向を踏まえ、導入予定者に対する助成を行う。
- 環境情報誌「エコのわ」などの媒体、環境教育、イベントなどを通じ、身近なCO2削減取り組みが進められる情報提供、啓発を行う。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ 太陽エネルギー機器導入加速化事業 148
- ◆ エコ住宅普及促進事業 149
- ◆ エコ事業者普及促進事業 151

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
高効率省エネ機器導入	123件	483件 (1月現在申請件数)	900件	1,100件
太陽エネルギー利用機器導入	—	91件 (1月現在申請件数)	650件	800件
CO2削減行動につながる講演会	—	3回	10回	10回



- 環境負荷の少ない都市の実現に向けた調査・検討を行う。
- 「クールシティ中核街区パイロット事業(平成19年11月環境省より地区認定)」の活用やクールベルト整備地域への重点的な支援などを通じてヒートアイランド対策に対する民間事業者のインセンティブを高める。
- ヒートアイランド対策として、道路の遮熱性舗装等について、効果を検証しながら導入していく。
- 豊島区の環境の状況又は環境保全に関する施策の実施状況に関する報告書を作成し、公表する。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

- ◆ クールシティ推進事業
- ◆ 【再掲】池袋副都心整備ガイドプラン推進事業 172
- ◆ 環境年次報告書作成事業

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
遮熱性舗装等	—	—	10,500㎡	15,000㎡
クールシティ補助活用事業	1事業	5事業	—	—

※クールシティ補助活用事業は、平成23年度で終了する。



【サンシャインシティ 外壁窓高反射フィルム整備】

## 環境

## 4

## 低炭素社会対応型公共施設等の整備

- 「豊島区役所環境配慮ガイドライン」の目標に向けて、施設の設備改善を含め全職員で取り組む。
- 「豊島カーボンマイナス施設づくりガイドライン」をすべての区立施設の建設計画、改修計画へ適用し、公共施設の整備における環境負荷を低減し、効果を公表する。
- 区内の街路灯を、計画的に省エネ型に改修していく。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 庁内地球温暖化対策事業 156
- ◆ 区施設エコアクション21認証の取得 157
- ◆ 健康プラザとしま省エネ改修 158



【チャレンジ指標】

【区営池袋本町二丁目住宅】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
新たに建設する低炭素社会対応型公共施設	—	・区営池袋本町二丁目住宅	・区立小・中学校1施設 ・体育施設 ・複合施設	・新庁舎 ・区立小・中学校2施設 ・体育施設 ・複合施設等
省エネ型街路灯の割合	1%	5%	12%	16%

## 環境

## 5

## 環境と経済の好循環の創出

- 中小事業者が省エネ機器導入にあたり国の利子補給が活用できるエコアクション21の認証取得を支援する。
- 省エネ機器導入等に要する資金調達について、地域金融機関との連携による制度導入を目指す。
- 東京都におけるCO2排出量取引制度の導入検討を注視しつつ、大規模事業者と区内中小事業者との連携を促進する仕組みづくりに取り組む。
- 環境配慮契約についての検討を進め、その導入を目指す。

【主な事業】（末尾番号は第6章の事業番号に対応）

- ◆ 中小規模事業者等CO2削減円滑化支援事業 150
- ◆ 省エネコンサルタント派遣事業 152
- ◆ エコアクション21認証取得支援事業 153
- ◆ 【再掲】エコ事業者普及促進事業 151
- ◆ 中小商工業融資事業（環境対策資金利子補給分） 234

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
エコアクション21認証事業者数	—	29件 (講座受講件数)	90件	115件
中小企業向け環境対応融資	—	1件	30件	50件

- スーパーなどの参加を得て、レジ袋削減・マイバッグ利用推進に取り組む商店街の増加をはかる。
- リユース食器の普及をはかり、リユース食器貸出事業による利用件数の増加をめざす。
- 優良店舗、事業者の紹介に努めるとともに、これらの取り組みを地域全体に波及させる取り組みを行う。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

◆ 3R推進啓発事業 167

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
リユース食器の年間利用数	—	17,000 枚	40,000 枚	50,000 枚



【リユース食器】

- 一般廃棄物処理基本計画に基づき、資源回収品目を充実させるなど、資源のさらなる有効活用を推進する。
- 豊島区清掃事業者連絡会（区と民間収集業者 5 社により構成）などの場を活用し、民間収集業者との連携を強化する。
- 地域との連携を強化し、地域が独自で取り組む資源回収を積極的に支援する。
- 集積所のパトロールを実施し、資源持ち去り行為の抑制や環境美化の推進を図る。

【主な事業】(末尾番号は第6章の事業番号に対応)

◆ 集団回収事業 164

◆ 新資源回収事業 163

◆ マンション資源集団回収事業 165

◆ 資源持ち去り防止対策事業 166

【チャレンジ指標】

指標名称	基準値 (19年度)	現在 (21年度)	4年後 (25年度)	目標 (27年度)
資源化率	19.8%	26.4%	30.7%	31.0%

《一般廃棄物処理基本計画のごみ量・資源化率目標》

